

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	TX沿線整備地区の字の区域の名称変更事業				会計	款	項目	大専	小専	
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）			01	02	01	17	01	52
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営			主管課		総務課			
					主管課長		渡邊 雅史			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	TX沿線5地区の土地区画整理地域内の住民	意図	土地区画整理事業の換地処分に併せ、字の区域及び名称の変更を行うことで、行政区域の整備を図り、地域内の住民の利便性の向上に資する。
事業内容	平成29年度においては、木地区の字の区域及び名称の変更に当たり、地方自治法の規定に基づく市議会の議決を得るための議案を調製し、流山市議会第3回定例会定例会に提案して、議決を得た。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新市街地地区…字の区域及び名称の変更の議決を得ている。</li> <li>・西平井・鱈ヶ崎地区及び鱈ヶ崎・思井地区…字の区域及び名称の変更の議決を得ている。</li> <li>・木地区…平成29年度に字の区域及び名称の変更の議決を得た。</li> </ul> ※今後も各地区の事業の進捗状況に併せて進めていく。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	行政区域制度審議会開催回数	3	3	0	回	→→	
②	市議会への議案提出	1	0	1	回	→→		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・新市街地地区、西平井・鱈ヶ崎地区及び鱈ヶ崎・思井地区は、議決結果を踏まえ、換地処分の公告後の手続に向けた準備を進める。 ・木地区は、行政区域制度審議会の答申をもとに、市議会の議決を得るための変更調書等を作成し、議決を得た。今後は、施行者との連携を密にし、換地処分に向けた準備を進める。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		8,133,400	6,375,400	7,200,600				
事業費(b)(円)		2,109,400	883,400	1,831,000				
うち一般財源		2,109,400	883,400	1,831,000				
職員給与費(c)(円)		6,024,000	5,492,000	5,369,600				
人役・職員(人)		0.80	0.80	0.80				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	木地区の字の区域及び名称の変更について、行政区域審議会の答申をもとに、地方自治法第260条の規定に基づく市議会の議決を得る。	③取組の課題	新市街地地区、西平井・鱈ヶ崎地区、鱈ヶ崎・思井地区及び木地区それぞれの土地区画整理事業の進捗状況を把握し、換地処分に合わせた住所変更等の関係業務を着実に進める必要がある。
②今年度(H29)に実施した取組	木地区の字の区域及び名称の変更について、当初のスケジュールどおり、平成29年流山市議会第2回定例会に議案を提案し、議決を得た。	④今後(H30以降)の改善計画	各地区の土地区画整理施行者（UR及び千葉県）の情報収集に努め、換地処分に向けた準備を進める。